

## 医療情報の研究利用について

研究の課題名	大腸CT検査における人工知能技術を用いた病変検出について
研究の責任者(当院)	放射線科 佐藤 哲太
研究の対象者	当院で大腸内視鏡検査と大腸CT検査をどちらも受検した患者
研究の目的	大腸CT検査における内腔読影では多くの解析経験と豊富な大腸疾患に関する知識を必要とし、また、有経験者であっても病変を見落とすことがあるのが現状である。そこで、昨今注目される人工知能技術を活用し、内腔読影にて利用可能な病変自動検出システムの開発を試みた。
調査対象データ該当期間	2020年4月～2024年11月
研究の方法 (使用する情報・試料)	大腸CT検査施行後に再構成した「仮想大腸展開像(VGP)」と「多断面再構成画像に仮想内視鏡像を合成した画像(VE+MPR)」
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話:0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

